

みみタロウ

日本語版 ☆101号 2013年8月

滋賀県国際協会ボランティアグループ「みみタロウ」
大阪府大阪市東淀川区 1-1-20 ピアザ淡海 2F
Tel/Fax : 077-523-5646
E-mail : mimitaro@s-i-a.or.jp
URL : http://www.s-i-a.or.jp

過去から学ぶ未来の防災

今回みみタロウは、立命館大学びわこ草津キャンパス、防災システムリサーチセンターを訪れ、大学院博士後期課程で歴史都市防災を研究されている金 度源さんにお話をうかがいました。



韓国の大田市出身です。大学で建築を学び、韓国文化財研究所で文化財の修復設計に携わっていたところ、2008年に韓国国宝第1号の南大門が放火される事件がありました。これをきっかけに、古くなる文化財を修復するだけでなく、事前

に守る防災の観点からも研究しようと考へ、2009年、立命館大学大学院に留学。小学校3年の時、父の仕事の関係で1年間京都に住んだこともあり、父と寺社めぐりをした当時の思い出も、今の研究につながっているのかもしれない。

韓国では、近代化に伴いたくさんの歴史的建造物や記録が急速に失われましたが、日本では、昔の町並みや木造建築や記録が比較的数多く残っています。日本の伝統的な町並みが、度重なる災害にも耐え、美しい風景を保ちながら引き継がれているのは、そこに災害に対するさまざまな知恵と工夫があるからです。その知恵を学び、再び現代に活かすことで、消防車が進入できない、防火設備を設置できないなど、現在の防火設備では守りきれない伝統的な町並みを守ることができるのではないかと、災害に最も脆弱とされる伝統的な町並みを守ることができるのなら、日本中どこでも防災対策ができるのではないかと考えています。阪神淡路大震災では、上下水道が断水し、河川などの水を消火活動に利用しましたが、研究室で取り組んでいるのが、地震の時も断水しない水のプロジェクト。自然を活かした歴史的な町並みの防災計画づくりです。木造建築は地震に弱いと言われていますが、揺れを受け流すなどの長所もあり、実際に怖いのは地震に伴う火災被害です。文化財の火災被害は周辺地域と一体であるため、文化財単一でなく、地域全体で防災を考へるようになっています。例えば、立命館大学を中心に取り組んだ清水寺地域の防災プロジェクトでは、清水寺の境内に設置した防火水槽に雨水を貯め、その水を寺より低地にある門前町に設けた市民消火栓に送って、高低差だけの重力で、地域住民の消火活動に利用できるようにしました。そのヒントになったのが、世界最大級の木造建築、東本願寺。何度も火災を経

た後の120年前、4.6km離れた琵琶湖疎水から防火専用の水道管を敷設。高低差約48mの水圧を利用して、境内の本殿に消火用水が噴水のように吹き上げるようにした過去の知恵です。その他、家が密接している京都の町屋には、隣家との間に小さな門が設けられ、昔、非常時には隣に逃げられるようになっていましたが、今、マンションのベランダには隣家に通じる避難経路がありますね。また、風呂の水を残しておいて防火用水にする知恵も昔からの生活のルール。このような知恵をコミュニティーの中で活かすことで、災害を最小限に減らせます。そのためには、設備を整えるだけでなく、各自が防災を学び、人とのつながりを持つことが大切。昔、人々の生活は町並み単位で成り立っていましたが、現代では核家族単位。地域の人の付き合いも稀薄になっており、コミュニティーの回復も課題です。

歴史都市防災の知恵を自分の住む地域に役立てたい、と思っていたところ、地域の方から声をかけていただき、留学生と地域の人々を対象に防災のワークショップを行いました。韓国人の場合、見た目は日本人と変わらないし、日本語も上手ですが、韓国ではほとんど地震がないため、防災意識がありません。ですので、ワークショップでは、まず地震時には周りの人々皆が被災者となり、自分の身は自分で守らねばならないことを学びます。と同時に、留学生と地域住民が顔見知りになって、何かの時には声をかけあえるようになることもねらいとしています。日本は地震が起きる国。地震を克服しながらなりたっているのが日本という国です。外国人は、短期の滞在でも、日本語はもちろん、日本の自然現象である地震についても学ぶことが大切です。東日本大震災では、留学生が多数帰国しましたが、もし防災の知識を持って対処できたなら、ここで自らの夢を叶えるために生活を立て直せたのではないかと残念でした。

今はネットなどで何でも解決でき、日本人と話さなくても、また日本語を話さなくても生活ができますが、実はそのことが一番心配です。何かの時には、日本語と人とのつながりがあなたを救います。近所の人と挨拶を交わして、指定避難所の場所と、マンションであれば、避難用はしごの位置なども確認しておいてくださいね。